

## 出展の様子（科学の祭典 in 北海道 2015～2018）



市民への理解促進ツールとしての「プロジェクタ+マッピング模型」((株)ウェザーコック)



砂場にプロジェクトマッピング((株)Will-E)



3D°プリンターで「リックイ君」の作成((株)Will-E)



燃料博士の登場（北海道ガス(株)）



省エネルギー対策と温泉熱エネルギー（池田煖房工業株式会社）



発電実験に挑戦！（日本技術士会北海道本部エンジョイ・サイエンス研究委員会）



発電トライ&タッチ(北海道電力(株)札幌南支社)

2015年(平成27年)6月14日(日曜日) 北海道新聞

### フォーク使い「やじろべえ」できた

子供向け「科学の祭典」開幕 札幌

子供に科学に親しんでもらう。青少年のための科学の祭典(実行委主催)が13日、札幌市南区の東海大札幌キャンパスで始まった。

日本物理教育学会北海道支部のメンバーが中心になり毎年実施している。約50のブースでベッドボルトロケットの工作体験などが行われたほか、理科教育や実験の専門家として知られる滝川洋二・東海大教育研究所特任教授(66)のサイエンスショーには家族連れら約200人が来場。空き缶など身近なものを使った「やじろべえ」作りや、くさや接着剤を使わず木材を組み立てるだけできる「レオナルドの橋」などが紹介され、子供たちは真剣な表情で実験に挑戦していた。

土呂石小5年の三浦部君(10)は「家で割り箸を使って同じ橋を作ってみた」と目を輝かせていた。

科学の祭典は14日午前10時から午後3時まで開かれる。問い合わせは実行委員室

の四方きん谷090・6264・0847へ。  
(荒谷健一郎)

つまじろやフォークを使う「やじろべえ」作り挑戦する児童

記事掲載 2015-06-14Sun (写真は滝川洋二先生のサイエンスショー「ふしぎなバランス」)(北海道新聞)



バンデグラフ (Van de Graaff) で静電気



天使のオルガンを弾けるかな？



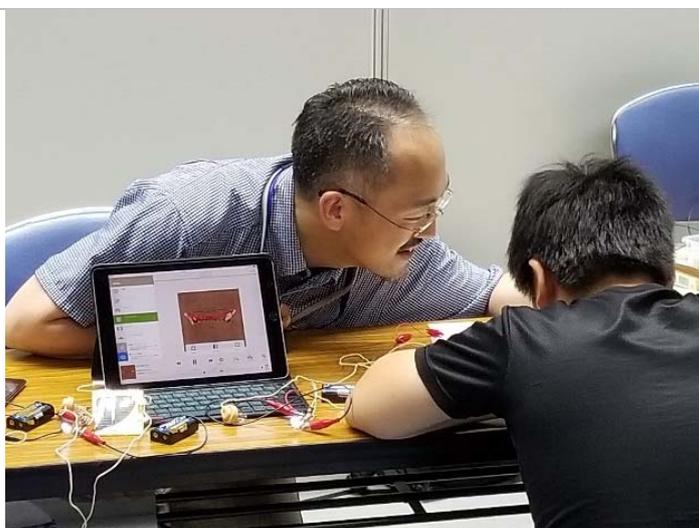
サイエンス&プログラミング教室 ラッコラによるコンピューターで植物をサイエンス



函館酸素(株)による迫力ある超伝導コースター



温度差発電を体験しよう！（NPO 法人北海道省エネまちづくり協会）



太陽電池(solar cell)で光(optical)通信



液体窒素でアイスクリーム



顕微鏡にドキドキ



「トヨタ MIRAI (ミライ)」まさに未来の車



青少年科学館のお姉さんのサイエンスショー「空気は力もち！」



滝川洋二先生のおもしろサイエンスショー:「いき(息)の力で電気をおこしてみよう！」



ティラノサウルス・レックスの骨格模型・博物館系施設とも連携